

越智文雄の一言モノ申す!

株式会社あかりみらいの越智文雄社長が、安心安全な未来に向けた「気づき」を発信するコラム。
エネルギー・防災・防疫などの幅広いテーマで辛口甘口、縦横無尽に斬り散らかす!

沖縄で脱原発を考える

沖 縄の方で原子力発電所を
見学してその現物を見たこ
とのある人はほとんどいないので
はないだろうか。筆者は昔、北海
道電力の広報課長を務めたことが
あり、古き良き時代の原子力広報
にも携わった。経産省の主導で沖
縄を除く全国の電力会社で「10
0万人の原子力発電所見学ツアー
キャンペーン」を張っていた。

当時、併任していた電力業界初
の危機管理室長としての初仕事は
9・11テロだった。遠くアメリカの
事態ではなく、夜を徹してワシン
トン事務所や海外出張者の安否
確認を行った。夜中にふと気づいて、
泊原子力発電所長に見学キャン
ペーンの中지를指示した。せっかくだ
け、ドライバーを巻いた見学者がい
たらどうすると脅しすかしたのを
覚えている。

なぜ2027年問題を
隠蔽したか

さて、本稿のテーマは省エネと
原発の行方についてである。前号で
「沖縄の灯りを護る」論稿を寄稿
したが、この活動が全国に広がり
蛍光管3億本が蛍光管型LEDに
交換されれば1000万キロワッ

ト、原子力発電所または火力発電
所10基分の発電量が不要になる。
泡盛古酒を飲みながら執筆し
ているので時系列が前後してしま
ったが、一昨年11月にスイス・ジュ
ネーブで締結された「水銀に関す
る水俣条約」から1年、昨年末の
どん詰まりの12月24日に2027
年の蛍光管製造禁止が正式に閣
議決定された。メディア諸氏もこ
のからくりには気づかずニュースに
もしなかったようだが、実はこの1
週間前の12月17日に「第7次エネ
ルギー基本計画」の改訂案が発表
されている。

今回のエネルギー基本計画は一
貫して原子力再稼働のためには何
を想定してもいい結論ありきのル
ールで、AI普及によるデータセン
ターの増設と半導体工場の稼働爆
増のためには原子力の再稼働が不
可欠であるというシナリオである。
何の数値的根拠もなく、ムードで
押し切ろうという国民を愚弄した
計画である。さて、先の蛍光管3
億本のLED化で原子力発電10基
が要らなくなるという仮説の前提
が蛍光管10億本だったらどうだろ
う。日本に原発は要らなくなる。
これをエネルギー基本計画の策定
委員会で提起されると收拾がつか
なくなるので、水俣条約締結後に

1年間も公表しなかったのだろう。
これで沖縄の灯りの危機タイマー
が1年進んでしまった。こういうこ
とを本土の雑誌に投稿すると、経
産省と電力会社から「裏切り者め」
と白眼視されるが、沖縄の皆さん
はどう感じるだろうか。

福島原発事故を経験した日本
に原子力は無いに越したことはな
い。北方領土のロシア軍基地から
500キロも離れていない積丹半
島の泊原発にミサイルの精密射撃
をされると、北海道は無人の島に
なる。昨年本誌で対談していた、だ
いた石垣市の中山義隆市長には台
湾有事の際は札幌ドームに集団避
難することを勧めしたが、考え
てみると西南危機で北海道の自衛
隊が南下しているチャンスにロシア
が黙っているはずがない。ウクライ

株式会社あかりみらいプレゼンツ

越智文雄の一言モノ申す!

2



越智 文雄
エネルギーコンサルタント
防災・危機管理アドバイザー

1957年生まれ。80年より北海道電力・電気事業連合
会に勤務。97年、電事連でCOP3に立ち会う。2008年、
北海道洞爺湖サミット環境総合展事務局長。12年、
株式会社あかりみらいを起業。全国のカーボン
ニュートラル対策、完全LED化に取り組む。「(一社)
日本の灯りを護る会」代表、日本除菌連合会長、(一
社)次亜塩素酸水溶液普及促進会議代表理事。

株式会社あかりみらい

akarimirai

お問合せはこちら

0120-760-814

フリーダイヤル受付(平日9時~17時30分)

あかりみらい

【沖縄あかりみらい(株)】

沖縄県那覇市久茂地2-19-5

【札幌本社】北海道札幌市北区北11条西2-2-17
セントラル札幌北ビル4階【東京支社】東京都中央区日本橋室町1-2-6
日本橋大栄ビル7階【大阪支社】大阪府大阪市北区梅田2-2-2
ヒルトンプラザウエストオフィスタワー18階

ナ戦争のように隣国の北朝鮮兵が
相乗りしてくることも十分想像で
きる。沖縄と北海道は軍事危機で
も運命を共有しているのである。
中国は12月に米国の半導体技
術輸出規制に対抗してガリウムの
輸出禁止を発表した。台湾有事か
尖閣事故が勃発したら日本にもガ
リウム禁輸、LED禁輸が始まる。
沖縄の灯りを護るにはひたすら早
く取り組むしかないのである。
さて、閣議決定が出て全国が一
斉に動き出す前に沖縄の灯りを護
らなくてはと、昨年の本誌5月号
の対談で意気投合した山川典二那
覇市議と「沖縄の灯りを護る会」
「同超党派議員連盟」を立ちあげ
る運びとなった。みなさまの参加
をお待ちします。お問い合わせは
沖縄あかりみらいまで。